

【事業名】 車載用LiB回収情報管理システムの高度化実証事業

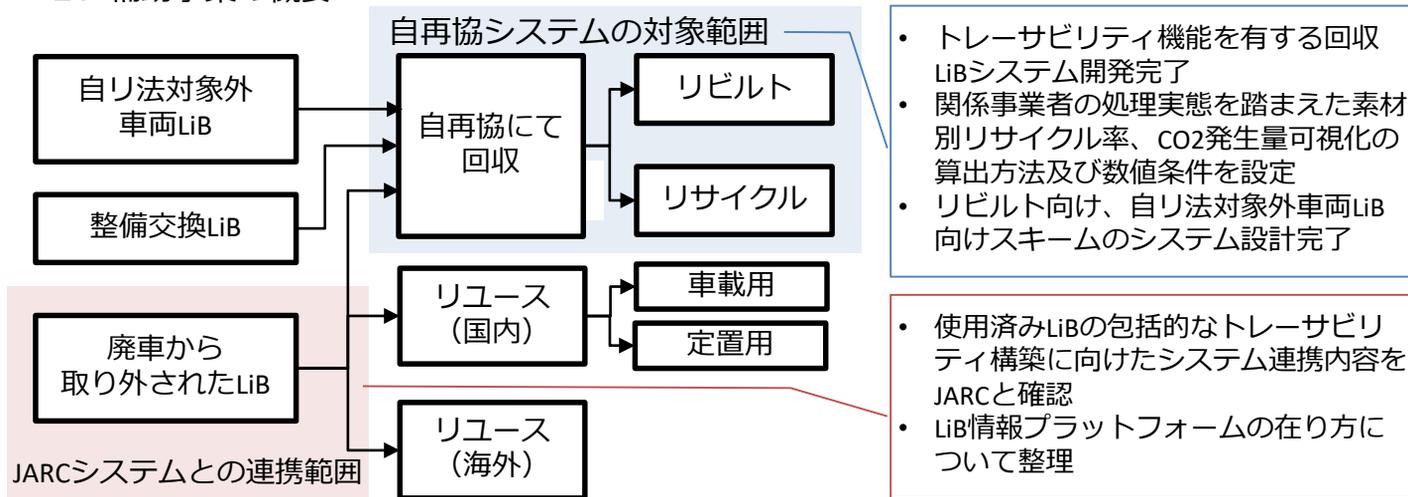
事業者名：一般社団法人 自動車再資源化協力機構

実施期間：令和4年8月～令和5年2月

1. 事業の背景・目的

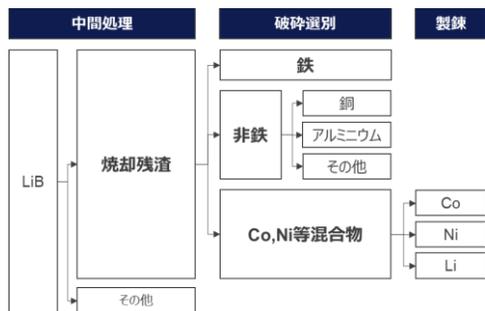
背景	今後の使用済みLiBの大量発生			2050年CNの実現
課題	使用済みLiBのトレーサビリティ確保	LiBのリサイクル促進	リビルト等によるLiBの二次利用促進	廃棄段階でのCO2発生量の把握
目的	有効な利活用促進	希少金属の安定確保	資源効率性の向上	CO2削減の取組促進

2. 補助事業の概要



**リサイクル率可視化**

- Co, Niを含む素材別のリサイクル率を算出
- 中間処理以降の破碎選別、製錬等によるリサイクル実態に基づく算出方法を設定

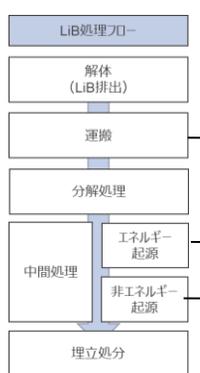


以下の条件を踏まえてリサイクル率を算出

- 焼却残渣の発生量
- 鉄、非鉄等の選別率
- 選別物の組成含有率
- 製錬工程での回収率

**CO2発生量可視化**

- LiB処理フローの各工程ごとにCO2発生量を算出
- 各工程のエネルギー使用量等の実績値から原単位を設定
- 非エネルギー起源はLiBの構成物を基に算定対象を設定



- 燃費法により算出
- 混載時の重量比率からLiB由来に按分
- LiB処理、排ガス処理、破碎選別、その他(酸素プラント等)の4つの対象設備を設定
- 各対象設備のエネルギー使用量と総処理量の実績値からCO2発生原単位を設定
- プラスチック、電解液、負極材を対象に設定
- LiB中の含有比率、対象物中の炭素比率から算出

**リビルト向けスキーム構築**

- 自動車メーカー自身または関係事業者がスキームに参画
- 対象LiBの場合、引取依頼時にリビルト向けの買取を選択可能